

じゃっと新聞

No.62 号

総会報告、視察報告

発行日：2013. 7. 10

発行人：古田 宣稔

発行所：じゃっと事務局

〒895-0052

鹿児島県薩摩川内市神田町 11-20

若松記念病院内

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail jaddo@po2.synapse.ne.jp

<http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/>



カムアン県で聞き取り調査

理事長 古田宣稔

3月24日の20周年記念式典には会員を中心に90名を超える出席を賜り大盛況の式が出来ました事に感謝申し上げます。歌って踊って楽しい時間でした。また、記念焼酎も「うんまか」と大評判でした。そして記念誌発行に当たっては会員の皆様の御協力で読み応えのある記念誌が出来たことに重ねて御礼申し上げます。さて、今年は梅雨明けしたと思ったら連日30℃を超える猛暑が続き熱中症や夏バテが心配になりますが、会員の皆様は暑さで体調を崩していませんか。暑い夏が来る毎 メコン川を眺めて飲んだ美味しいラオビールを思い出します。

7月に国内の啓蒙活動の一環で「薩摩川内元気塾」の講師として祁答院の上手小、黒木小、聞牟田小、大裏小、そして市内の隈之城小の5校で「じゃっと」の話をしました。

じゃっとの活動の中心である学校保健でラオスの小学生の写真が出る度に、各小学校の子供達も我が事のように熱心に聞いてくれました。水道がなく、毎日子供たちが川に水汲みに行く事。洗濯機が無く、たらいで洗濯する事。寝るとき、虫に刺されないように蚊帳を張る事。トイレに紙が無く使った後は水でお尻を洗う事。子供たちにとっては驚きの連続だったようです。全てに恵まれた日本小学生にとって「ラオスの子供達はどう映ったのか」学校に行けるだけで喜ぶ子供達、鉛筆やノートを貰って大事そうに持つ子供達に「世界に目を向けよう」と語りかけた言葉に何かを感じてくれたと実感しました。

21年目を迎えた「じゃっと」は首都ビエンチャン周辺への支援活動から発展的撤退します。理由は諸外国からの援助で豊かになっている事や少しですが経済が発展したからです。

しかし、地方行けば貧困に喘ぐ地域が多数あり、今後活動を継続する地域を調査し決めていこうと考えております。今後とも会員の皆様と一緒に「じゃっと」を通じ、ラオスの子供達の成長に寄与していきたいと思っておりますので御支援宜しくお願い致します。

平成 24 年度（2012 年）事業報告

自 2012 年 4 月 1 日～至 2013 年 3 月 31 日

2003 年から支援しているナテ村小学校で対象校の教師を対象にセミナーを開催した。また、スタディツアーで村訪問時には、郡の教育局、父兄等を招待し子供たちも参加して 20 周年式典を行った。手をあらおうの絵本の最後のページにきれいなタオルで手をふこう！とあることから、絵本の読み聞かせをしたあと、タオルを子供たちや教師等に供与した。このタオルの購入の一部は薩摩川内市国際交流ネットワーク団体の助成金を活用した。Banchang 村小学校屋根の改修工事を施工した。本年度の机イスは 80 セットを作成し各 4 校に 20 セットずつ供与し、スタディツアー時に会員が記名した。これらの活動には、今井記念海外協力基金の助成金が充当された。

国内では、創立 20 周年記念事業として、記念誌～20 年のあゆみ～を製本し、式典にはラオススタッフ 4 名を招聘し、会員をはじめ関係者とじゃっどの活動の歴史を振り返った。ラオスの民族楽器ケーンの演奏、記念講演があった。

1. 国内の活動

① 絵本部：

- ・ 昨年に引き続き、絵本「もやしもん」の“きんのオリゼー 手をあらおう”にラオス語訳シールを貼り、ラオスの子供たちに届けた。ラオス視察時に支援校に 105 冊、タオルを 300 枚届けた。
- ・ 7 月じゃっど主催のラオスパネル展、10 月純心女子大学祭に、鹿児島大学ボランティア体験学習の学生の協力を得て、会員以外の方々にラオス語訳シール貼りを体験してもらった。

② バザー部：

- ・ 本年度で終了。

◆参加したイベント

- ・ 純心女子大学祭（10 月）
- ・ FM薩摩川内開局記念イベント（3 月）

③ 開発部：

◆理事による講演、会合への出席

- ・ 鹿児島大学「ボランティア論」（4 月と 10 月）「国際協力論」（6 月）：講義
- ・ 「NPO じゃっど活動パネル展」の開催 於：ダイエー鹿児島店（7 月）
- ・ 薩摩川内市市民活動ネットワーク会議（9 月、3 月）：出席
- ・ JICA 国際協力パネル展協力参加（10 月）：パネル出展
- ・ 第 21 回青少年健全育成意見発表大会（薩摩川内市 2 月）：後援、審査委員として出席
- ・ 水引中学校 元気塾講演（8 月）：講話
- ・ 純心女子大学祭（10 月）：じゃっどブースでのラオスパネル展示
- ・ 高城西地区青少年健全育成報告会にて講話（12 月）：講話

④ 広報部：

- ・ じゃっど新聞 60 号、61 号を発行
- ・ 認定 NPO 法人“じゃっど”創立 20 周年記念誌～20 年のあゆみ～作成（350 冊）

10 月～3 月まで 12 回の記念誌作成委員会を開催

◆じゃっど事務局訪問

- ・ JICA 九州 1 名、かごしま JICA デスク 1 名（4 月）
- ・ ラオス現地スタッフ 1 名（6 月）
- ・ グラフかごしまインタビュー（7 月）
- ・ 九州電力協同組合鹿児島支部執行委員長（2 月）

2. ラオスでの活動

◆本年度活動対象校

Nong-No(ノンノ)小学校 2010 年～
 Nathair(ナテ)小学校 2003 年～
 Douang Bouddy(ドゥアンボウディ)小学校 2010 年～
 Ban Chang (バンチャン) 小学校 2011 年～
 Thadeindeng Tai (タディンデンタイ) Thadeindeng (タディンデン) 小学校 2004 年～
 Thapha-inh (タパイン) 2012 年～

◆活動内容

Nathair(ナテ)・・・視察（9、10、11 月）、机イスの供与、教師対象のセミナー、スポーツ用品の供与
 Ban Chang(バンチャン)・・・視察（9、11 月）、校舎（屋根）補修、教師対象のセミナー、スポーツ用品の供与
 Douang Bouddy(ドゥアンボウディ)・・・教師対象のセミナー、スポーツ用品の供与、机イスの供与
 Nong-No(ノンノ)・・・教師対象のセミナー、スポーツ用品の供与
 Thadindeng Tai、Thadeindeng（タディンディ小学校）・・・教師対象セミナー、スポーツ用品の供与、机イスの供与
 Thapha-inh（タパイン）2012 年～・・・教師対象のセミナー、スポーツ用品の供与、机イスの供与

○教師対象のセミナー

2 月開催： 上記の 6 小学校

3 視察ツアー

- ・ 日本訪問 2012 年 8 月 13 日～8 月 18 日 コンサップ氏、ソムチット氏 ラオス活動報告
- ・ ラオス視察 2012 年 11 月 24 日～12 月 1 日 じゃっど会員 11 名（途中参加 1 名）
- ・ 日本訪問 2012 年 3 月 22 日～3 月 30 日 ラオス招聘 4 名 20 周年式典参加、天理医療大学で講話。



♪ 絵本の読み聞かせのあと、タオルを供与しました（お祝いの熨斗紙入りです）



参加した小学校にボールを供与しました



机に寄付者のお名前記入中



ナテ村小学校で行われたセミナー



← 工事前（屋根はさびてぼろぼろ。柱は白アリ被害）



バンチャン小学校屋根工事中



屋根工事完成です

平成 25 年度（2013 年）事業計画

国内活動

①絵本部：じゃっど活動の広報、啓発を兼ねて、また地域貢献への意識も持って行う。

「絵本を届ける運動」に参加（社団法人「シャンテ国際ボランティア会」から、ラオス語訳のシールと共に日本の絵本セットを購入。会員、また活動を理解し協力して下さる方々にラオス語訳シール貼りの作業を手伝って頂き、ラオスへと送るものである）

②開発部：昨年に引き続き、以下を行う。

- ・鹿児島大学法学部にて講義「ボランティア論」
- ・鹿児島大学ボランティア体験学生の受け入れ（後期）
- ・県内の小中学校での講話
- ・県内の国際交流活動に積極的に参加

③広報部：じゃっど新聞の発行、ホームページ更新、パンフレット配布、ボランティアの募集、他

1. 国内事業

① ラオスやじゃっどの活動を鹿児島県内でもっと知ってもらうためにスタディツアーを企画、実施する。時期については、会員の要望などを考慮する。

② 「薩摩川内国際青少年音楽祭」の後援

③「じゃっどパネル展」の開催

- ・鹿児島市と薩摩川内市で 2 回開催予定
- ・遠方の方へは会員を通して貸し出しを行いパネル展の開催を促す
- ・企業との連携・・・パネル展（地元企業）の共催

④助成金等

- ・薩摩川内市国際交流ネットワーク団体（予定）
- ・鹿児島県および薩摩川内市の各種助成制度への応募、他（予定）

2. ラオスでの事業の実施に関する事項

本年度は、“じゃっど”の今後の活動を見据えたリーサーチの年とします。

ビエンチャンでは、援助を必要としなくなっております。“じゃっど”の活動を必要としている場所はどこなのかを探し、また、そこで活動する人材がいるかをラオス側代表である Dr.Somchit, Dr.Kongsap と共に検討します。

ビエンチャン特別市内の小学校は韓国をはじめとする諸国の援助が入り、20 年前と比べると随分豊かになってきました。ついに、目標としてきた発展的撤退でしょうか。しかし Dr.Somchit は、まだまだ地方は援助が必要だと考えています。地方を対象校にするとラオススタッフは日曜日を利用しての活動のため、遠距離に行くことは厳しいです。交通事情がよくないからです。今回、ラオスで活動している他の NGO との協働活動をしたらどうかと

の案が出されました。ラオスでは様々な分野で活動している NGO があります。手段は違い

ますが最終目的は同じです。お互いが培った実績を尊重しながら、ノウハウを共有して、連携をとりながら活動ができればより大きくラオスの子供たちのために貢献できるかもしれません。学校保健と地域保健の協同も視野に入れています。

6月に帖佐徹会員がラオススタッフと共に他団体の活動を視察に行きます。そこでじゃっどはどういう形で支援ができるのか、協働できるのかを検討してきます。

皆様もじゃっどのあり方にご意見ご要望などありましたら、お知らせいただけますと幸いです。

■総会終了後 6/9～6/15 まで帖佐徹会員が基礎調査にラオスに行きました。以下スケジュールです。報告は 10P からをご覧ください。

日付	行動表	同行
6/9	ビエンチャン到着	
6/10	7:00 保健省（日本の厚生労働省） Dr.NaoBoutta 訪問 8:00 教育省（日本の文部科学省）訪問 午後～カムアン県へ移動	Dr.コンサップ Dr.ソムチット
6/11	8:00 カムアン県副知事訪問 8:30 県保健局、PHO 所長訪問 9:30 県教育局訪問 11:00 ISAPH 事務所訪問 2:30 Xebangfai 郡役場、郡保健局訪問	ISAPH スタッフ Dr.コンサップ Dr.ソムチット
6/12	9:30 Tung（トゥン）村小学校訪問 10:30 DongMark Ba（ドゥンマークバー）村 小学校訪問 11:30 BungHua Na（ブンファナーヌア）（村 小学校訪問	ISAPH スタッフ Dr.コンサップ Dr.ソムチット
6/13	ビエンチャンへ移動	
6/14	8:30 ナテ村小学校 10:30 タパイン小学校で机イス記名	Dr.コンサップ Dr.ソムチット
6/15	帰国	

会計 2012年度活動計算書及び2013年度活動予算書

科目		2012年度決算	2013年度予算
前期繰越収支差益	国内	1,921,194	2,302,104
	ラオス	705,886	184,598
会費・寄付金	年会費(2000円×会員数)	294,000	300,000
	寄付金(個人)	2,234,063	400,000
	寄付金・賞金(団体)(※1)	510,000	0
	机いす募金	202,500	200,000
	助成金	610,000	0
小計		3,850,563	900,000
事業費	研修事業(※2)	1,340,200	1,200,000
小計		1,340,200	1,200,000
その他	利息	407	300
	雑収入(※3)	256,778	90,000
	期末バザー棚卸	0	0
	為替差益	60,744	
	雑貨売上収入(※4)	110,300	0
小計		428,229	90,300
A当期収入合計		5,618,992	1,830,500
B収入合計		8,246,072	4,677,002

Ⅱ 支出の部

科目		2012年度決算	2013年度予算
事業費	学校保健事業(※1)	166,352	200,000
	学校設備充実事業(※2)	860,471	300,000
	研修事業(※3)	2,610,354	1,500,000
	普及・啓発事業(※4)	556,646	250,000
小計		4,193,823	2,250,000
管理費	人件費(※5)	259,941	100,000
	事務消耗品費(※6)	42,347	50,000
	印刷製本費(※7)	69,689	50,000
	会議費(※8)	3,486	20,000
	通信運搬費(※9)	290,950	180,000
	修繕費(※10)	52,659	20,000
	租税公課(※11)	102,300	0
	諸会費(※12)	40,000	40,000
	研修費(※13)	79,020	10,000
	謝金(※14)	20,000	0
	交際費(※15)	414,694	10,000
	雑費(※16)	75,632	50,000
小計		1,450,718	530,000
	期首バザー棚卸	106,829	0
	雑貨仕入れ	0	0
	バザー管理費	8,000	0
	予備費(活動準備金)	0	1,897,002
小計		114,829	1,897,002
C当期支出合計		5,759,370	4,677,002
A-C当期収支差益		-140,378	-2,846,502
B-C次期繰越収支差益		2,486,702	0

◆2012年度収入の主な内訳		
		単位/円
年会費	2000円×127 名/年	294,000
個人寄付		
※1 団体寄付	九州電力生活協同組合	510,000
助成金	今井記念海外協力基金	560,000
	薩摩川内市国際交流協会ネットワーク事業	50,000
机いす募金	のべ47名 の個人、団体より寄付	202,500
※2 研修事業	ラオススタディツアー(会員)の実施	1,340,200
※3 雑収入	南九州ペプシコーラ売上手数料(じゃっと自販機/若松記念病院、東郷ゆったり館)	81,778
	国内20周年式典参加代(2000円×86 名,1000×3 名)	175,000
※4 雑貨売上	純心大学学園祭、きやんせふるさとフェスタ	110,300
◆2012年度支出の主な内訳(ラオス活動)		
※1 学校保健事業	ナテ村小学校で教師対象のセミナー、視察、	166,352
※2 学校設備充実事業	バンチャン小学校の校舎屋根改修工事、机椅子作成、スポーツ用品の寄贈	860,471
※3 研修事業	ラオス、国内20周年式典関連、スタディツアー参加者、スタッフ渡航費、国内移動費、	2,610,354
◆2012年度支出の主な内訳(日本/ラオス)		
※4 普及・啓発事業	20周年記念誌350冊、記念焼酎100本	556,646
※5 人件費	ラオス人件費	259,941
※6 事務消耗品費	日本/ プリンターインク、レター用クラフト封筒、コピー用紙代他	39,265
	ラオス/ プリンターインク、他	3,082
※7 印刷製本費	”じゃっと”新聞印刷(2回発行)	23,452
	コピー代、理事長他名刺代	46,237
※8 会議費	報告会会場代、イベント参加代	3,486
※9 通信運搬費	日本/じゃっと新聞発送(2回)、NTT通話料、プロバイダー料他	215,803
	ラオス/通信費、交通車両費	75,147
※10 修繕費	ラオス/車のメンテナンス	52,659
※11 租税公課	H23年度 法人市民税、法人県民税、事業税、法人税	102,300
※12 諸会費	JINIC年会費、日本貿易振興機構 アジア経済研究所年会費	40,000
※13 研修費	日本人ラオススタッフ打ち合わせの経費(交通費、宿泊費)他	79,020
※14謝金	式典講話、式典演奏の謝礼	20,000
※15交際費	日本/20周年式典関連飲食代他	334,607
	ラオス/20周年式典関連	80,087
※16雑費	日本/帳簿整理料(税理士事務所)、著作物使用許諾書代、他	63,383
	ラオス/事務所光熱費(4カ月分)	12,249
◆2013年予算事業費の主な内訳		
学校保健事業	ラオス支援校の調査、ラオス渡航費	200,000
学校設備充実事業	机椅子作成	300,000
研修事業	スタディツアーの実施、スタッフ渡航費他	1,500,000
普及・啓発事業	パネル関係(作成、イベント参加)他	150,000
	ラオスに絵本を届ける運動 絵本代	100,000

2012年度 貸借対照表

2013年3月31日現在

資産の部		負債と次年度活動準備金の部	
科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産の部		1 流動負債	
①現金	66,829	①未払い金	
②郵便預金	2,235,275	②前受け金	
③棚卸資産	0	③預かり金	
④未収入金	0		
⑤仮払金	184,598		
流動資産合計	2,486,702		
		流動負債合計	0
2. 固定資産		2 固定負債	0
		III 正味財産の部	2,486,702
合計	2,486,702	合計	2,486,702

監査報告

2012年4月1日～2013年3月31日の期間のじゃっどの決算に関し、事業は適正に実施され、活動計算書及び貸借対照表、諸帳簿は、会計原則に基づいて作成され、監査の結果、確かに相違ないと認めましたのでここに報告します。

2013年 5 月 20 日 監事 若田吉朗



【目的】「じゃっど」は、学校保健活動を通じて、20 年間ラオスの子供達を支援してきたが、経済発展に伴い、ビエンチャン市周辺は支援を必要とする小学校が少なくなってきた。しかし全国的に見れば貧困地域はまだ多く、支援を必要としているのも事実である。そこでカムワン県セバンファイ郡において「農村における寄生虫対策プロジェクト」を実施中の NPO 法人 ISAPH と協力して、周辺地域の学校保健基礎調査を実施し、今後の「じゃっど」の支援可能性を検討することとした。

【方法】学校保健や寄生虫対策の国家レベルの活動は、保健省及び教育省の担当部署を訪問し、聞き取り調査する。カムワン県レベルでは、県庁や県保健局、県教育局を訪問する。セバンファイ郡では、郡役場、郡保健部、郡教育部を訪問し、郡内の小学校の情報、学校保健や寄生虫対策の現状と活動計画を聞き取り調査する。

調査対象校の選択：ISAPH は、セバンファイ郡シーブンファン地区ドンサワン村において、全住民対象の寄生虫プロジェクトを導入中である。これは 1 年計画であり、既に寄生虫保有率予備調査が開始され、寄生虫予防保健セミナーが実施中である。「じゃっど」は今回 ISAPH と協力して、学校保健基礎調査を行うが、ドンサワン村での ISAPH の活動スケジュールは確定している。そこで「じゃっど」の主対象地域は、ドンサワン村周辺の ISAPH プロジェクト対象の村々として、寄生虫対策に学校保健がどのように寄与し得るかを調査する。交通の利便性から、チュン、ドンマックバー、バンファナラの 3 つの小学校を対象とした。

調査方法：村長や校長、教員、子供達の学校保健の知識や取組を聞き取り調査する。付帯設備視察を行う。「じゃっど」の学校保健活動の説明を行い、現在のニーズや学校保健協力への教員の希望を聞き取る。

【結果】ラオス国では、保健省、教育省が協力して学校保健を進めており、国家級委員会も存在する。しかし具体的な内容はまだ作成中で、現在各県の現場活動例を集めている。保健省 CDC によると、肝吸虫へのプラジカンテル、鉤虫へのメベンダゾールの小学校での投与を進めているが、2013 年、プラジカンテル投与後 3 名の死者が出たため、投与は慎重にとの方針が出されている。

カムワン県では、ISAPH が活動中で、Dr Kongsap や Dr Somchit もよく訪問しており、報告者も JICA EPI 専門家時代の知己が多く、どこでも歓迎されたが、学校保健での寄生虫対策の情報は少ない。駆虫剤配布はキャンペーンとして 1 年 1 回 4 月に、DOTs 形式で行っているが、便検査は実施せず。この分野の省レベルの政策はまだ不完全で、詳細は郡レベルで聞いてほしいとのこと。保健局と教育局の連携はあるが、強力なパイプではないとのこと。ISAPH は全住民対象の寄生虫対策は行っているが、学校のチャンネルはなく、教育部門とのチャンネルが出来ることは有益とのことであった。また、ISAPH の事前調査のデータでは、この辺の住民は鉤虫、肝吸虫感染がとくに多い。鉤虫では、年齢別で 6 歳から 15 歳までの就学年齢で一番高い。

セバンファイ郡では、ISAPH の事前調査で寄生虫対策の必要性がはっきりしたと感謝していた。予防を重点としたいが、ここでは大人の衛生知識は低く考え方も頑固で、言っても聞かない。汚い水も飲むし、トイレも使わない。駆虫薬のキャンペーンで拒薬する人、不在の人もある。「じゃっど」も小学校を通じて協力してくれるようお願いとのことであった。全郡に 15 の幼稚園、43 小学校があり、教師たちは学校で保健教育しているが、理解できない、学校来ない、石鹸などモノがない、少数民族多くコミュニケーション困難である等の理由で、子供の健康を守るのは大変とのこと。

3 つの小学校を訪問したが、残念なことに 6-8 月はラオスの小学校は夏季休暇であった。それでも全教師の他、29 名の小学生が参加してくれた。教師も小学生も、衛生知識については意外に高

い。教師が保健知識を得るのは、衛生局からもらったポスターを通じてとのこと。普段は衛生スタッフが直接学校に来ることはない。特別な教員トレーニングを受けたのは 2008 年に UNICEF の 3 日間コースが 1 回きり。また学校保健を教えるのは、課外授業で時間数は少ない。

小学生 29 名への聞き取りでは、寄生虫の感染経路は食べ物とか皮膚からとか知識は正確。学校ではみな靴はいているが、家の周りでは裸足とか、田んぼに行くときは裸足とか、いつも履いているわけではない。手洗いは学校では全員が石鹸を使ってすると応える。食事の前、トイレの後洗うとのこと。家では不明。家にトイレがない子は 29 人中 9 人で、穴を掘ってするとのこと。飲み水については、沸かした水かペットボトルの水を飲むという子が 100%。ラープ等生の食物は学校では食べないし、親にもいけないと伝えるとのこと。しかし子供には食べさせなくとも、親は食べているとのこと。駆虫剤はメベンダゾールという鉤虫用の薬を、年 1 回 4 月に DOTs 方式で、全員が服用したと覚えている。検便はしていない。肝吸虫のプラジカンテルは、現在キャンペーン中止している。

施設については、校舎は立派なものがある。チュン校とバンフアナ校は日本の NGO が建てた。3 学校ともトイレは立派なものあり。ドンマックバー校は幼稚園用に校舎建てたが、内部床セメントむき出しで、遊具なく、小学校用の机椅子が入れてあるだけで、設備不足である。バンフアナ校は予算がなく、表の国道まで来ている水道を引くことができない。乾季はとくに困る。子供達は飲み水を家から持ってこなくてはならない。

【考察】

今回は基礎調査であり、ISAPH の現行プロジェクトに加えて、周辺村落への学校保健支援が寄生虫対策に貢献できるかを調査するものである。カムワン県は報告者 3 名のよく知る地域であり、地元の協力への期待も高い。また、鉤虫感染率は就学年齢で一番高く、学校保健のターゲットであり得ると思われる。しかし、実施可能かの判断に加え、実施時期、期間、範囲、予算、実施方法等の検討が必要とされる。報告者 3 名の分析では、(1)バンフアナ校の水道パイプライン敷設は、コスト的にもすぐ実施可。(2)ドンマックバー校の幼稚園の設備整備もすぐ実行可能。(3)希望の多かった教員トレーニングも、3 校を対象にセバンファイ郡で、ビエンチャンと同じ形式で実施可能。しかしコスト試算は必要。(4)チュン校の寄生虫検査は、明確なエビデンスを得るためにも必要だが、予算確保、検査技師確保、時期の検討(新学期が始まる 9 月以降)、フォローアップの検討つまり陽性が多い時の対応(駆虫するか?2014 年春の一斉投薬を待つか?)、付帯的な身体検査は行うか?等の検討が必要。

加えて人的リソースの確保も必要である。Dr Kongsap も Dr Somchit も意欲的ではあるが、多忙であり、カムワン県に年に何回も来られない。事務的な支援は ISAPH に依頼できるとしても、ラオス人専門家の確保が必要である。

また、距離的な問題もある。カムワン県はビエンチャンとチャンパサックの中間にあり、どちらからも車で 5 時間かかる。空港は隣のサバナケット県にあり、ここから車で 1 時間。スタディツアー企画すると大変であろう。コーン島は Dr Somchit 達が考えているもう一つの候補地であり、チャンパサックから入国してコーン島へ行き、またチャンパサックからサバナケットへ空路という移動も可能である。しかし時間はかなりかかることになる。

2013 年は「じゃっど」の次の活動のための調査時期に当たるので、慎重な検討が必要である。

今回は上記調査活動に加え、ビエンチャン市のナテ校、タパイン校を訪問し、現状視察とともに、机椅子募金の名前記入を行った。

最後に、ISAPH を始め、今回お世話いただいたラオス、日本の関係者の方々に深謝致します。



Makba 村小学校で聞き取り調査



お茶代わりにヤシの実ジュース



6 月は田植えの季節。学校も長期休みです。

吉田いつこ氏講話

大口寄付の皆様



司会の若田氏



御来賓の皆様



古田理事長の挨拶



皆様のご支援で 20 周年を迎えることができました。ありがとうございます。
これからも、よろしくお願いします！



Dr. ソムチットと Dr. コンサップ



ケーン演奏、虫明氏



じゃっど焼酎

閉会の挨拶



両端がアチャンと Dr. マニパン



踊りの輪ができました

20 周年式典を終えて

宮脇 美智子

3 月 24 日、活動を支援してくださっている方々と共に 20 周年記念式典を開宴しました。前半では、吉田いつこ氏による「ラオスー薩摩川内から広がった学校保健」と題した講話がありじゃっどの活動を振り返りました。乾杯の後、設立時から今日までの大口寄付者 7 名の方々に感謝状と記念品の贈呈し感謝の意を表敬しました。後半、虫明悦生氏の民族楽器ケーンの演奏が始まり、はじめ、ラオスのメンバーが舞台上で踊り始めました。すると、いつの間にか 2 人、3 人と踊りの輪がどんどん広がり、数十名の方々の踊りの輪になっていきました。どなたがラオス人でどなたが日本人なのかわかりません。この光景を観て、すごく心地よい一体感を感じました。同じ地球に住む、アジアの仲間だと。出席者のある会員の方（ラオスに以前住んでおられました）が、「ラオスに居るみたいだ！」と、おっしゃいました。国際交流は難しく考えないで、できることから始めることなのかもしれません。

ご多忙の中、休日の式典に出席くださった関係機関の皆様、遠く東京から日帰り参加の会員、名古屋、広島、福岡、水俣市から参加の会員、市外の大隈半島から、また知覧や鹿児島市内からも駆けつけてくださいました。当日ご寄付も有難うございました。

沢山の方々のご参加に感謝しましたと同時に、中には窮屈な思いや不愉快な思いをされた方もおられたかもしれません。この場をお借りして、お詫び申し上げます。

高校生学生派遣でラオスタディーツアーに参加し、現在大学生の会員から、「当日は用事でどうしても出席できませんが 30 周年記念式典には参加させてください」と事務局にメールが届きました。じゃっどサポート隊として、若い力をお借りしたいです。

じゃっどの活動が 20 年間も続いているのは会員の支援はもちろん、ご寄付くださる団体や個人、他の NGO 団体や学生派遣事業に協力頂いた役所や高等学校などの沢山の方々のお蔭です。会場探しにはじまり、式典の内容など、これまでこのような会を計画、実行したことのない私は、「はたして、出来るのだろうか？」 「人が集まるのだろうか？」と常に不安がよぎりました。資金の心配もありました。じゃっどサポート隊（主に市内の会員でイベントなどに協力）の協力も得、会員のご寄付もあり、何とか当日を迎えました。出席者は、なんと 92 名になりました！ラオス国からは 5 名の出席でした。

最後に、事務局員として約 14 年間、じゃっどに携わってきましたが、家庭の事情で、事務局員を辞める事になりました。活動のきっかけをくださった帖佐理事をはじめ、共に楽しく活動できたサポート隊に感謝です。これからは、サポート会員として、活動に参加したいと思います。

【事務局たより】

新規会員・ご寄付（2013年3月～2013年7月）

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます。（以下敬称略させていただきます）

- **新規会員** 下川恵子、原田暁子（福岡県）、弓場秋信、北村愛（鹿児島市）、児玉タツ子、野間芳香、今屋佳代子（薩摩川内市）
- **平成24年度会費** 岩田誠、高倉公明（東京都）、森田正人（愛知県）、白水悠花（熊本県）、東香代子（鹿児島市）、済藤美紀、瀬筒勝二（鹿屋市）、中馬美智（日置市）、丸田小百合（いちき串木野市）、山陸裕康、仮屋洋子、若松裕子（薩摩川内市）
- **平成25年度会費** 阿部雅昭、澤田達男、丹沢佳子（東京都）、小山内美江子（神奈川県）鳥山信子（千葉県）、森田正人、藤島美由紀、サイヤキエンベット（愛知県）、吉田いつ子（奈良県）、橋本晴美、下川恵子、原田暁子（福岡県）、時村祐輝、時村兼輔、時村英輔、サントリービバレッジ（株）、長友由紀子、東香代子、北村愛、桑原美智子、鹿島友義、鹿島直子、米山晃代、弓場秋信（鹿児島市）、森重学（霧島市）、済藤美紀、酒井マリ（鹿屋市）、川原恵子（阿久根市）、小屋一美、高橋真弓、有川清猛（いちき串木野市）、内田耕也、神崎侯至、神崎裕士、神田安代、山陸裕康、山本澄子、牛之浜妙子、児玉充敏、児玉タツ子、増岡淳子、辛島芳子、田中英世、宮脇美智子、新原千恵子、矢野千鶴子、和田ミヨ、山下矣礎子、太利公宏、若松郁子、小林キヨ子、柴こうこ、帖佐徹、帖佐理子、古田宣稔、伊東ひとみ、泊亜希子、田中康代、若田吉朗、牧田弘子、中島清登、若松大介、若松しづ子、橋口知章、本田文男、北住信子、庵地紘一、野間芳香、今屋佳代子、（株）ハートフル、（有）十本松ドライブイン、安永健次郎、南修、南恭子、今村久美子（薩摩川内市）
- **平成26年度会費** 宇井豊（神奈川県）、内田和子（北九州市）、馬場寛利、時村ヨシ、時村睦子（鹿児島市）、小屋一美、尻無浜むつみ（いちき串木野市）、児玉充敏、児玉タツ子、本田文男、神彰男（薩摩川内市）
- **寄付金** 長崎綾子、丹沢佳子、小林義郎（東京都）、高野眞綾、森田由夫（埼玉県）、宇井豊、小山内美江子（神奈川県）、長友由紀子、北村愛、増田隆信、弓場秋信、九州電力生活協同組合（鹿児島市）、有川清猛、丸田小百合（いちき串木野市）、山本澄子、太利公宏、田中康代、立島尚子、本田文男、北住信子、庵地紘一、神彰男、上村洋市、知識友弘、瀬戸山望、瀬戸山弘子、児玉充敏、和田ミヨ、向井佑次郎、上野多留子、古田宣稔（薩摩川内市）
- **机、いす募金** 2口：丹沢佳子、小林義郎（東京都）、高野眞綾（埼玉県）、時村ヨシ・睦子、増田隆信、弓場秋信（鹿児島市）丸田小百合（いちき串木野市）、小林キヨ子、本田文男、北住信子、神彰男（薩摩川内市）
- 1口：阿部雅昭、岩田誠（東京都）、宇井豊（神奈川県）、サントリー

ビバレッジ（株）、（鹿児島市）、瀬筒勝二（鹿屋市）、小屋一美（いちき串木野市）、（有）十本松ドライブイン、田中康代、安永健次郎（薩摩川内市）

- **大口寄付** 九州電力生活協同組合（鹿児島市）、小幡順子（出水市）、帖佐理子、帖佐徹（薩摩川内市）
- **印刷協力** 神崎侯至（株式会社アクティブ）
- **新聞発送協力** 立島尚子
- *以下は前号での記入漏れ分です。訂正とお詫びを申し上げます。
- **平成24年度会費** （有）かんだ調剤薬局、平山健介（薩摩川内市）
- **平成25年度会費** かんだ調剤薬局（薩摩川内市）
- **平成25年度会費**→正しくは**平成24年度会費** 砂田裕仁（千葉県）

【国内活動】

- 2月23日 第9回記念誌作成第委員会（神崎、高橋、泊）
式典打ち合わせ（古田、若田、宮脇）
- 3月3日 第10回記念誌作成委員会（神崎、小幡、帖佐理子、帖佐徹、神崎裕士、泊、高橋、宮脇、増岡）
- 3月4日 第11回記念誌作成委員会（神崎、帖佐、泊、高橋）
- 3月5日 第12回記念誌作成委員会（神崎、帖佐、泊、高橋）
- 3月23日 式典最終打ち合わせ、懇親会
- 3月24日 じゃっど20周年記念式典
- 4月10日 会計処理指導（太利氏）
- 4月25日 鹿児島大学講義「国際ボランティア論」（帖佐）
- 4月28日 沈壽官氏訪問 式典報告（古田、久木野）
- 5月2日 第1回理事会（古田、帖佐、神崎、高橋、宮脇）
- 5月8日 薩摩川内国際青少年音楽祭実行委員会（神崎）
- 5月16日 ライオンズクラブにて講話（古田）
- 5月20日 会計監査（若田）
- 5月25日 第21回NPOじゃっど定期総会
- 5月26日 パネル展示（於：さつまパイロットクラブ）
- 6月9日～ 帖佐徹 ラオス視察
- 16日 ナテ小、タパイン小にて机いす記名作業（20台）
- 6月13日 薩摩川内国際青少年音楽祭実行委員会（神崎）
- 6月19日 第1回学校評価委員会
於：県立川内高等学校（古田）
- 7月5日 薩摩川内市立上手小学校、黒木小学校、隈之城小学校 薩摩元気塾講演会（古田、久木野）
- 7月6日 第2回理事会（古田、帖佐徹、帖佐理子、小幡、神崎、高橋、今屋）
- 7月12日 薩摩川内市立蘭牟田小学校、大東小学校 薩摩元気塾講演会（古田）

じゃっど INFORMATION

◆ ジャっとスタディツアー募集！ ◆

仮案：平成 25 年 12 月 21 (土)～27 (土)

じゃっどの次の支援候補先の視察に一緒にいきませんか



首都ビエンチャン特別市から車で約 5、6 時間
(道路事情により時間が違います)

カムアン県はフランス統治時代の面影をかすかに残し
ラオスの国の中央に位置し、経済交易の要地となっ
ています。じゃっどの支援候補地です。みなさんも一緒
に視察にいかれませんか？

詳細は確定次第ホームページ等でお知らせします。
興味のある方はお早めにお問い合わせください。

◆ 薩摩川内国際青少年音楽祭、後援 ◆

日程：平成 25 年 9 月 28 日 (土曜日)

午後 2 時から

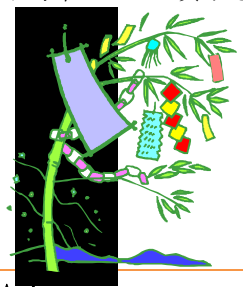
場所：国際交流センター (薩摩川内市)

今年で第 8 回となる音楽祭は、ラオスの民族音楽です。
じゃっど 20 周年式典でケーン演奏していただいた、虫明
氏率いる「モーラム楽団」がラオスからやってきます。当
日パネル展示等、お手伝いをさせていただきます。ラオス
一色で盛り上げましょう！たくさんの方のご来場をお待
ちしています。

◆ 鹿児島純心女子大学学園祭 ◆

日時：平成 25 年 10 月 26 (土)～27 日 (日)

写真パネル展での参加となります。
今年はバザーはありませんが、お手伝いして頂ける
方、ご連絡ください。



★★編集後記★★

★★20 周年の式典はとても良かったですね。ケーンの
演奏も、みんなの踊りもさすがじゃっど！山元酒造さ
んの米焼酎の出来ばえは素晴らしく「ラオラオ」に負
けない味と、飲みやすさで飲んでにはたまらない焼
酎です。む・・・また焼酎か！！(KAMI)

★例年より 2 週間も早い梅雨明けから 1 週間が過ぎ、
連日 30 度越えの猛暑が続いています。我が家は、気
まぐれの冷蔵庫が氷を作らなくなりました(汗)。快食
快眠でこの夏を乗り切りましょう (はいぶりっじ)

★5 月より事務局員として、お世話になる事になりま
した。じゃっどが熱い活動をしてる事も、ラオスの場
所すら知らず、ただいま日々勉強中です。見た目はデ
カイですが、中身は小心者の私。皆様の温かいサポー
トを頂きながら、頑張りたいと思います。どうぞよろ
しくお願いします。(I.K)

会員様の会費納入状況 (会費有効期限) は、宛名シール
内に記載してありますので、ご確認ください。(今年度平
成 25 年度会費の有効期間は、平成 25 年 4 月 1 日～平成
26 年 3 月 31 日です) 25 年度納入された方には、
宛名シール：会費有効期限 2014/3/31 とあります。

※ゆうちょ銀行の自動引落としにて会費お支払の方は、支払
日＝8 月 30 日となっております。

※振込用紙はすでに次年度会費を納入済みの方にも同封
してあります。寄付金等のご協力にお使いいただければ幸
いです。

じゃっどの活動は皆様の会費に支えられています。

机いす募金・寄付金、随時受け付け中です。

よろしく願いいたします。

ゆうちょ銀行： 02050-2-4746 口座名 JADDO